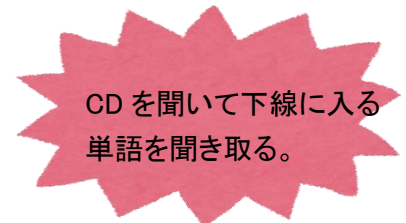
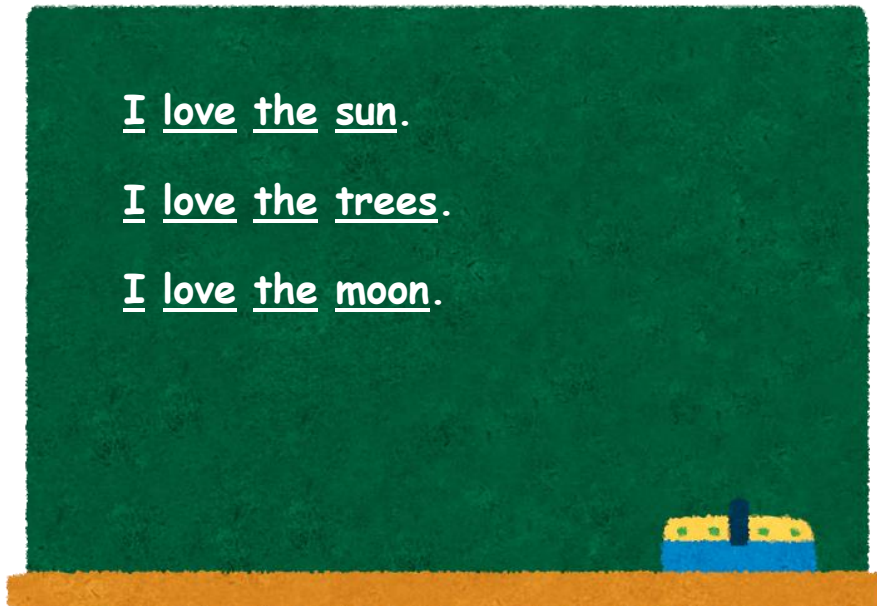
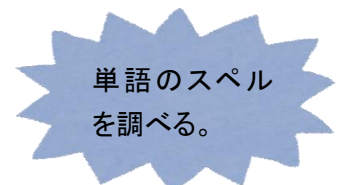
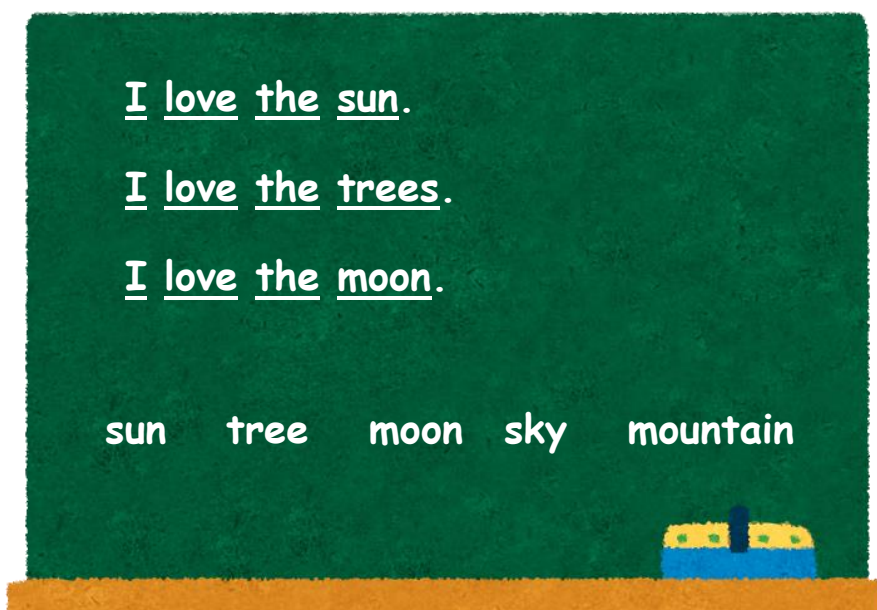


Learning World Book 3 Unit 1-1 指導案

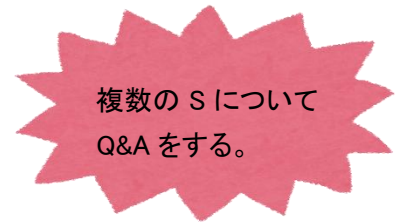
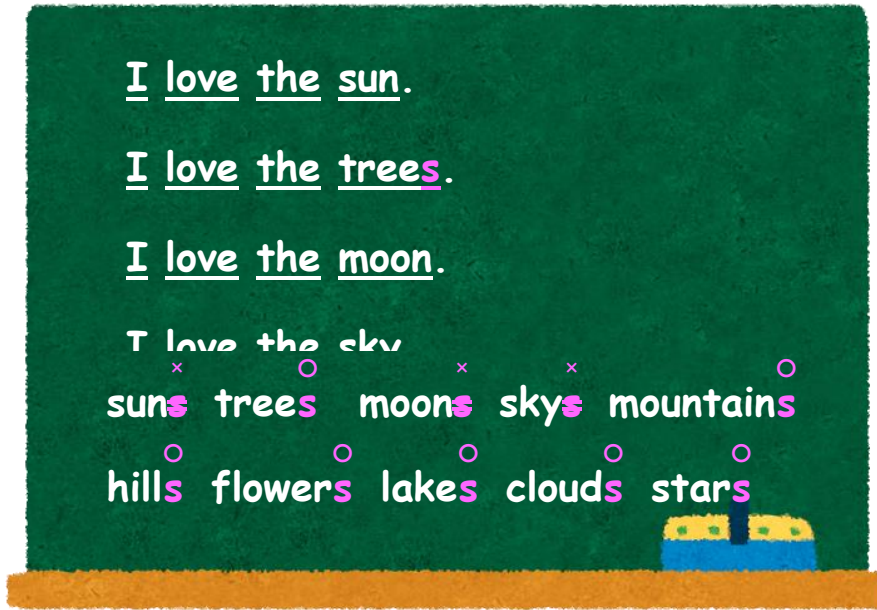
- ① 黒板に単語の数だけ下線を引く。⇒CDでポエム(CD①#6)を流す。⇒下線に入る単語を聞き取らせる。
⇒子供に単語を言わせて教師が書くか、子供に前に出て下線に単語を書かせる。
⇒意味を確認する。その都度句型練習をして、口慣らし(できれば暗記)をする。



- ② CDで WORDS(CD①#4)を流す。⇒黒板に書いていない mountain, hill, flower, lake, cloud, star は、子供に単語のスペルを言わせるか、黒板に単語を書かせる。スペルが分からない時は辞書で調べて書く。



③ 黒板に書いてある英語に下記のように複数の S を書き入れ、Q&Aをする。

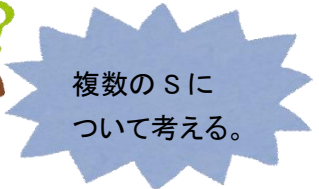


Q: tree, mountain, hill, flower, lake, cloud, star にはどうしてSが付けられると思う？

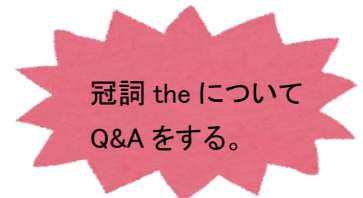
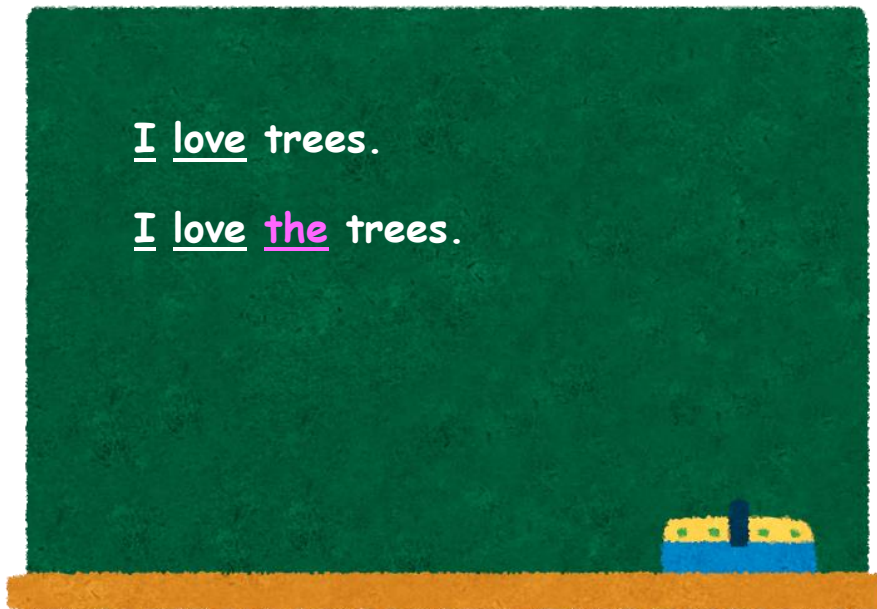
A: 2つ以上あるから。

Q: sun, moon, sky にはどうしてSを付けられないと思う？

A: 1つしかないから。

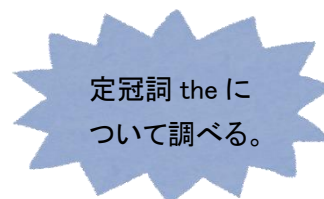


④ I love trees.と I love the trees.の2つの文を書き、Q&A をする。



Q: I love trees.と I love the trees.の違いは何だと思う？

A: ...。⇒辞書で the を引かせる。



* 下記のような答えを引き出せるような質問を子供達にどんどん投げかけて行く。教師から答えを与えるのは、どうしても説明が必要な時だけにする。

・sun, moon, sky はひとつしか存在しないので, the sun, the moon, the sky と the を付ける。

・通常、木というものを話題にして「木が好きだ」という時は the は付けない。

・the trees と the が付いていることで、周囲にある木々を指しているということがわかる。

・この詩の中では、「(自分たちの周りにある)太陽や木々や月や空よりも、僕は君が一番好きなんだ」ということを伝えようとしている。

* 小学生の段階では the の使い方を正確に理解させる必要はないが、違いがあるということを知っているだけでも、中学入学後の学習の助けとなるので、Book 3 に入ったら、折に触れて文法的なことについて Q&A をするようにする。ただし、あくまでも具体的に、あくまでも楽しく行う。

the 629 the

I'll meet you *at* the station.
駅までお逢いにいきたいと思います。◀「近」の駅など、どの駅まで行くのかはわかっている場合の例。

【the のポイント】
● the は名詞の前につけ、その「あ」と特定のものをさしますが、しばしば日本語には訳しません。
● 不特定のものをさす冠詞(不定冠詞)の a と an は、数えられる名詞の単数形につけますが、the は単数形にも複数形にもつきます。
● the は this, that, each, every, my, his などと使えます。
● 名詞が形容詞をともなう場合には、the は形容詞の前に置きますが、all や half などともなう場合には、the はそのあとに置きます。
the beautiful flower その美しい花。
all the passengers すべての乗客。
half the students 生徒の半数。

④◀説明の語句がすべてで限定される名詞の前につける。しばしば日本語には訳さない。
the 10:30 (a.m.) train (午前)10時半発の電車。◀10:30は ten thirty と読む。
the day before yesterday おととい、一昨日。
◀「きのうの前」の日から。
the spring of 2003 2003年の春。◀2003は two thousand (and) three と読む。
the way to the post office 郵便局へ行く道。
Paris is the capital of France.
パリはフランスの首都です。

⑤◀「Will you pass me the book on the desk?」「Sure. Here you go.」「机の上の本を渡してくださいませんか。はいです。はいどうぞ。」
This is the boy I was speaking of.
(これ)の子が私が話していた少年です。

⑥◀形容詞の最上級、順序を表す語、または only の前につける。
the deepest lake in Japan 日本いちばん深い湖。
the first train 始発列車。
the sixth of March 3月6日。
the twenty-first century 21世紀。
Jim is the tallest in his class.
ジムはクラスでいちばん背が高い。
My sister is in the seventh grade.
妹は7年生(中学1年生)です。
Mary is the only girl on our team.
マリアーははくらのチームでただ1人の女の子です。

⑦◀ただ1つのも、方角・自然現象などをさす。
the sun [moon] 太陽[月]。
the earth [world] 地球[世界]。
the sky [sea] 空[海]。

the right [left] 右[左]。
the rain [wind] 雨[風]。
The sun rises in the east and sets in the west. 太陽は東から昇り、西に沈む。

【the のポイント】
● 1つの物であっても、形容詞をともなう、一時的な状態を表す場合には a をつけます。
a full moon 満月。
a cloudy sky くもった空。
a heavy rain 激しい雨。

⑧◀一部の固有名称につける。
the Thames テンズ川。
the Pacific (Ocean) 太平洋。
the Sea of Japan 日本海。
the United States (of America) アメリカ合衆国。
the Alps アルプス山脈。
the Hawaiian Islands ハワイ諸島。
the Browns ブラウン家、ブラウン一家。
the White House ホワイトハウス。
The Times タイムズ紙。
The Prince of Wales 英国皇太子。

【the と固有名称】
● the をつけるものは、河川・海洋・運河・海峡・湖・砂漠などのは、複数形の名詞である山脈・群島・一家、また乗り物・公共建築物・新聞・書物・称号・歴史上の事件などです。
● 原則として the をつけないのは、固有名称の人名・国名・地名・山・湖・通り・公園・駅・空港・学校などです。

the をつけるもの the をつけないもの

川 山
海峡 湖
山脈 駅
公共建築物 学校

⑨ (the + 単数名詞) ~ というもの。◀動物の個体全体を表したり、楽器や機械を表したり、抽象的[?]特定の場面に用いる。
The dog is a faithful animal. 犬(という動物)は忠実な動物だ。◀名詞の複数形 Dogs are faithful animals. とすべが口語的。
George can play the piano.
ジョージはピアノがひけます。
The pen is mightier than the sword.

⑤ テキスト p.4 を開き、CDの後に続けてポエム(CD#6)と単語(CD#4)を読む。

⑥ 事前に郵便局などでお取り寄せギフトのカタログをもらっておく。* 折り込み広告でもOK
タブレットがあれば、通販サイトを活用することも可能。

* 郵便局 <http://www.shop.post.japanpost.jp/shop/c/c10/>

* JAタウン <http://www.ja-town.com/shop/f/f0>

いずれも写真がきれいなので、絵カードを使うよりはるかに盛り上がる。

A) 机の上にカタログを並べ、子供達に好きな食べ物ベストスリーを選ばせる。

B) カタログの写真を見せながら、教師が自分の大好きな食べ物を紹介する。



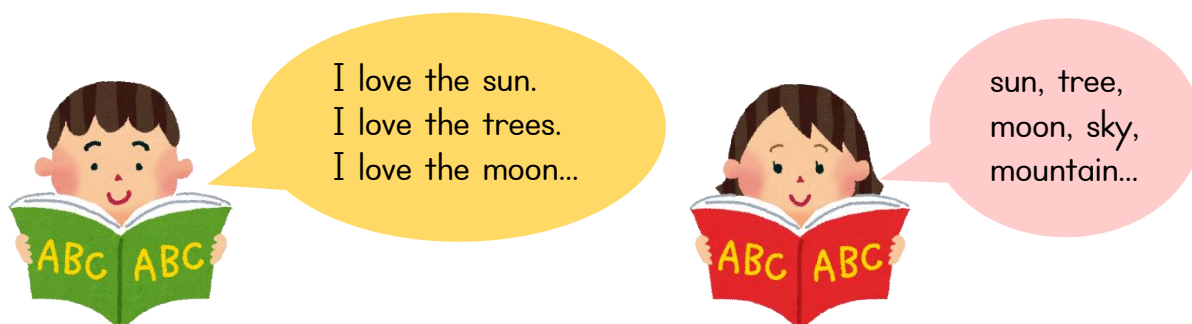
例: "I love apples. I love oranges. And I love melons best of all."

C) 1人ずつ前に出て、カタログの写真を見せながら、大好きな食べ物を紹介する。



例: "I love chicken. I love pork. And I love beef best of all."

- ⑦ テキスト p.5 の「Let's Make a Speech」に上記で発表した食べ物の名前を書く。
* カタログやチラシが使い捨て可能であれば、写真を切り抜いて横に貼っておく。
そうした写真が子供にとっては楽しい思い出になり、子供自身が学習を振り返る回数が増える。
* 作業をしている間、CDで歌「I Love the Mountains」を流しておく。
耳から自然に英語が入って来ることで、定着が速くなる。
- ⑧ 終わったら、ポエム・単語・スピーチ・歌のいずれかを、1回に1つずつチャレンジする。
スラスラ言えたらスタンプ1個、暗記できたらスタンプ2個を押す。



- * クラスによって進むスピードが違うので、時間が足りなければ2時間以上かけて行う。
- * チャレンジは翌週以降も行い、正確な発音で表現力豊かに言えることを目指す。